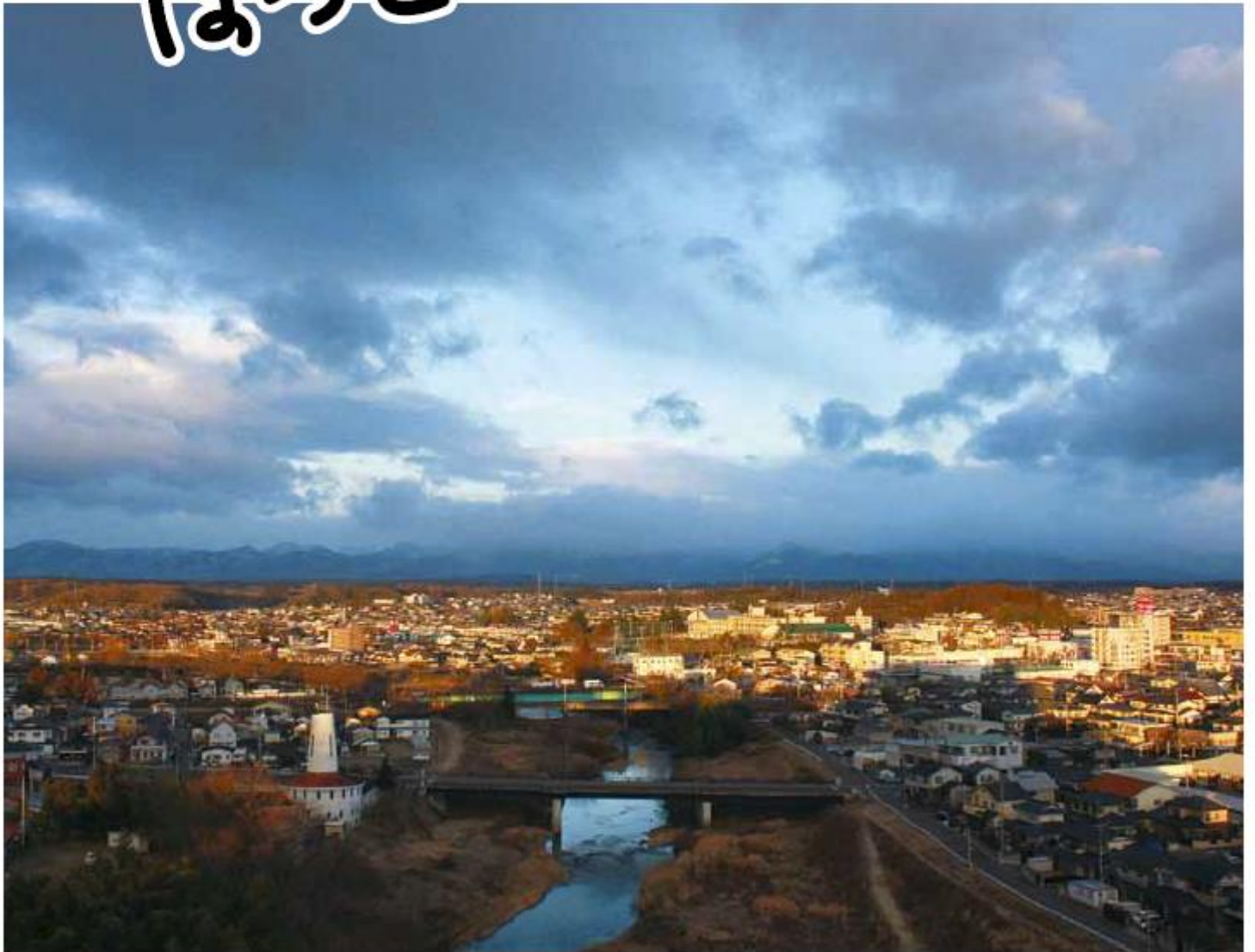


いわせ ほっとニュース



「当院屋上からの風景」

[公立岩瀬病院の基本理念]
患者さん中心の医療を実践し、
地域の皆さんに信頼される病院をめざします。



公立岩瀬病院

<http://www.iwase-hp.jp/>

Contents

新年のご挨拶	02
新任医師紹介	03
住民公開講座	03
Dr's カフェ	04
在宅介護のポイント	05
出産・育児ナビ	05
福島県消化器内視鏡技師研究会	05
栄養ミニ情報	06

新年のごあいさつ



公立岩瀬病院企業団

企業長 伊東 幸雄

令和二年、明けましておめでとうございます。日頃のご支援に厚く御礼申し上げます。ともに今年もよろしくお願いいたします。

昨年は大きな台風被害に見舞われましたが、復旧・復興に取り組む地域と一体となり当院の役割を果たしていきたいと思っております。

また、超高齢社会と人口減少を見据えながら、引き続き地域医療構想を推進するため「医療提供体制の強化」や「地域包括ケアシステムへの対応」、「安心して産み育てることの出来る地域づくり」、病院等相互の連携強化を目指した「地域医療連携推進法人制度の活用」など「新改革プラン」の目標達成に向けて一層の努力をまいりますので、変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。



公立岩瀬病院

院長 三浦 純一

令和二年、東京オリンピックが開催されるスポーツの年が幕を開けました。全世界から人々が集まるスポーツの祭典が楽しみです。

公立岩瀬病院は、みなさまのご支援のおかげで一五〇年近くの歴史をもって親しまれています。ありがとうございます。

昨年の台風十九号による災害時には、当院の災害派遣医療チーム(DMAT)が本宮市や二本松市に出動しました。地域中核病院として医療を提供することに加えて福島県内で発生した災害の復旧を支援できる病院に育ちました。ひとえにみなさまのご支援の賜物だと感謝しています。

今年もさらなる発展を目指してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



公立岩瀬病院

看護部長 伊藤 恵美

新年あけましておめでとうございます。

昨年、看護部では、「思いに寄り添う優しい看護」を理念に掲げ、院内においては、助産師外来をスタートいたしました。また、市内のイベントへの参加や学校等へ講師として出向いたり、令和元年度の台風十九号で県内の被災された地域に、災害支援ナースを派遣することができました。

今年も、様々な取り組みを通し、地域に根差した病院として患者様やご家族の方々に信頼され安心していただける医療・看護の質の向上に向けて一層努力して参ります。

今年一年が、みなさまにとりまして、幸せで実り豊かな年となりますことを心よりお祈りし新年のご挨拶とさせていただきます。

着任医師紹介



片倉 響子 (かたくら きょうこ)

診療科：消化器内科、内科 出身大学：福島県立医科大学 出身地：福島県

趣味：スポーツ観戦、ボクシング、旅行

地域の皆さんへ

大きな夢は、地域の大腸癌死亡率を低下させることです。目の前の患者さんに向き合い、コツコツと日々の診療に取り組み、いつか夢を実現させたいと思います。



伊藤 史浩 (いとう ふみひろ)

診療科：産科婦人科 出身大学：福島県立医科大学 出身地：茨城県

趣味：バイク、サックス

地域の皆さんへ

地域の皆様に安心かつ満足していただけるようなお産を目指します。また、婦人科疾患においては他施設と連携をとりながら適切な対応をさせていただきます。よろしくお願いいたします。



今泉 花梨 (いまいすみ かりん)

診療科：産科婦人科 出身大学：福島県立医科大学 出身地：福島県

地域の皆さんへ

地域医療に貢献できるよう、一生懸命がんばりますので、よろしくお願いいたします。



齋藤 淳哉 (さいとう じゅんや)

診療科：小児科 出身大学：秋田大学 出身地：福島県

地域の皆さんへ

子どもたちとご家族の気持ちに寄り添い、力になれるよう努力していきます。よろしくお願いいたします。

住民公開講座を開催しました

12月14日(土)午後3時、外来棟3階の大会議室を会場に「もっと知りたい大腸がんのこと」をテーマに住民公開講座を開催しました。

はじめに、公立岩瀬病院消化器内科部長の片倉響子医師が「大腸がんの予防は可能か?」と題し、大腸がん検診の重要性や内視鏡検査の進歩、そして最近の内視鏡治療も含めてわかりやすく解説を行いました。続いて化学療法科部長の大谷聡医師が「大腸癌の標準治療」として、がんに対する手術療法や薬物療法などを中心に解説を行いました。最後に座長を務めた土屋貴男副院長から「公立岩瀬病院は地域の開業医の先生方と連携しているので、普段はかかりつけ医の先生に診ていただき、必要に応じ公立岩瀬病院に紹介していただくことでより詳しい検査や治療を受けていただくことが可能です。」とのまとめで会を閉じました。

地域の皆さん約130名が参加し、医師の講演に熱心に耳を傾けていました。講演終了後の質疑応答では参加者の皆さんから多くの質問が寄せられ、がんに対する関心の高さが伺われました。公立岩瀬病院では、今後も住民公開講座を開催する予定です。





研修医

並木早苗医師



インフルエンザについて

皆さんこんにちは。寒さも日毎に増します今日この頃どうお過ごしでしょうか。

冬といえば、インフルエンザが最も流行る季節です。皆さんはどのような感染対策をしていますか。2019年11月27日現在の福島県のインフルエンザの定点当たりの報告数は全国で14番目であり3.88となっています(全国は3.11)。ここでいう定点当たりの報告数とは国が定めた条件に当てはまる県内のいくつかの病院(定点医療機関といいます)で発生したインフルエンザ患者数の合計を、県内の定点医療機関数で割った数になります。この数値が高いほど流行が大きいことを表しています。11月13日現在では1.16(1.03)、11月20日現在では2.10(全国1.84)と数値は徐々に大きくなっています。このことは、現在福島県でインフルエンザ患者数が増えてきており、全国の中でも罹患者の人数が多いことを表しております。

インフルエンザ予防の対策としては、まずインフルエンザがどのように感染するのかを知る必要があります。インフルエンザは、感染している人がくしゃみなどをすると、飛沫した唾液内に含まれるウイルスが他の人の気道内に入って気道粘膜に付着し炎症を引き起こすことにより発症します(飛沫感染)。また、感染者の唾液が付いたドアノブなどのものを触った手で自分の鼻や口に触れても感染します(接触感染)。

以上のことから、マスクやこまめな手洗い・うがいが感染の有効な対策になります。また、感染を防ぐには免疫力を上げることも大事です。免疫力を上げることによって、たとえ体内にウイルスが侵入したとしても、発症することを防ぐことができます。免疫力を上げる方法は十分な栄養、休息、適度なストレス発散です。完璧には出来ないにしても、意識して少しでも行動に移すことが大事です。もうひとつ大事なこととして、インフルエンザワクチン接種があります。ワクチン接種は発症を完全に予防するものではありませんが、感染した場合に重症化(肺炎、脳症等)を防止することができます。

冬はイベントの多い季節でもあります。元気に健康で楽しめるように、普段からしっかり感染予防をしていきましょう。



在宅介護 の ポイント



入退院支援室では、患者さん、家族が安心して入院、退院できるよう「入院する方への説明」「入院中から退院に向けて介護保険やサービス、福祉の説明」を看護師、社会福祉士が行っております。今回は、退院が決まっても「ひとり暮らしで心配」「買い物に行くのが大変」などの心配がある方へ、安心して退院できるための社会資源の一部をご紹介します。

【緊急で通報ができるシステム】

70歳以上でひとり暮らしの方が、急に具合が悪くなった場合、緊急で通報ができるシステムです。

【配食サービス事業】

高齢者のみの世帯に、月曜日から金曜日まで昼食弁当(有料)を配達します。同時に安否確認もします。

その他、様々な社会資源がありますので、入退院支援室へご相談ください。

出産・育児ナビ



発熱は体の防御反応と言われます。解熱剤は熱を下げるだけで病気そのものを治す薬ではないため医師の指示にもよりますが一般的に体温が38.5℃以上の場合に使用します。手足まで温まり汗をかき始めたら熱が上がりきったサインです。嫌がらなければ冷やしてあげましょう。体温だけでなく全身の状態や経過も注意して見てください。診察の際にとっても参考になります。迷ったり心配なときは早めの受診をお勧めします。熱性痙攣けいせいきりんなどの既往がある方は主治医へご相談ください。

(小児科外来)

受診の目安

- | | | | | |
|-------------|---|---------------------------|-------------|-----------|
| 大至急受診または救急車 | → | 意識が朦朧 <small>もうろう</small> | 顔色がひどく悪い | はじめてのひきつけ |
| 診療時間を待っての受診 | → | 37.5℃以上 | 下がった熱が再び上がる | 微熱が続く |
| 様子を見る | → | 37.4℃以下で上がる | 気配がなく機嫌もよくて | 食欲もある |

第35回福島県消化器内視鏡技師研究会 最優秀演題賞 受賞

福島県立医科大学で開催されました「第35回福島県消化器内視鏡技師研究会」において、内視鏡室所属の芳賀かおり看護師が「内視鏡業務に関するフロー作成の取り組み」について発表し、「最優秀演題賞」を受賞しました。

内視鏡室では、看護マニュアルを活用するだけでなく、内視鏡業務に関するフローを作成することで、内視鏡室に異動し間もない看護師が少しでも早く慣れ、業務を行えるように取り組んでいます。今後も継続的にフローの見直しを行いながら、患者さんに対して、安心、安全な医療が提供できるよう、業務に取り組んでまいります。



栄養ニ情報



若々しさを維持したい方へ

「ごま豆乳プリン」

1人分 エネルギー174kcal 蛋白質5.4g 脂質14.5g
炭水化物12.7g

《材料》(2人分)

- ・黒練りごま 大さじ1
- ・調整豆乳 140cc
- ・低脂肪生クリーム .. 40cc
- ・ラカント 15g
- ・粉ゼラチン 2.5g
- ・水 大さじ1

★トッピング(お好みで)

- ・生クリーム 適量
- ・黒いりごま 適量

作り方

- ① あらかじめゼラチンは水でふやかしておく。
- ② 鍋に練りごまを入れて、豆乳を少しずつ加えて混ぜ合わせる。
- ③ 砂糖を加えて弱火にかける。豆乳は沸騰させないように注意する。
砂糖が溶けたら火からおろす。
- ④ 戻したゼラチンを加えて余熱で溶かし、全部溶けたら濾してボウルに移す。
- ⑤ 氷水にあてながら粗熱を取り、さらに生クリームを加えとろみが出るまで混ぜ合わせる。
- ⑥ 器に入れて冷蔵庫で冷やし固める。トッピングの生クリームは泡立てしておく。
- ⑦ プリンの上に生クリームと黒ごまをのせる。

大豆に含まれる大豆イソフラボンには骨粗鬆症しょうの予防や改善、動脈硬化の原因となる悪玉コレステロールを減らす作用があります。また、ごまには老化や生活習慣病を促進させる活性酸素を抑制したり、免疫力を高めるビタミンEも豊富に含まれています。風邪やインフルエンザにかかりやすくなるこの季節、細菌やウイルスにも負けない丈夫な体を作りましょう。



公立岩瀬病院

【編集・発行】

公立岩瀬病院 広報委員会 (広報誌発行部会)

〒962-8503 福島県須賀川市北町20番地

Tel 0248-75-3111 Fax 0248-73-2417

E-mail koho@iwase-hp.jp

